平成21 年４ 月13 日

各位

会社名　　株式会社三菱ケミカルホールディングス
本店所在地　東京都港区芝四丁目14 番1 号
代表者名　　取締役社長　　小林 喜光
（コード番号 4188 東・大第１部）
問合せ先　　広報・IR 室長　高阪 肇
電話　　０３－６４１４－４８７０

連結子会社（田辺三菱製薬株式会社）の特別損失の発生、業績予想の修正および役員報酬の一部返上に関するお知らせ

弊社連結子会社である田辺三菱製薬株式会社（コード番号 4508 東・大第１部）が、特別損失の発生、業績予想の修正および役員報酬の一部返上について、本日別添の通り発表いたしましたのでご連絡いたします。

なお、当社連結業績につきましては、業績動向を総合的に判断し、修正の必要があればお知らせいたします。

以上

平成 21 年 4 月 13 日

各　位

会 社 名　田辺三菱製薬株式会社
代表者名　取締役社長　葉山夏樹
（コード番号　4508）
問合せ先　広報部長　笹生好久
TEL 06-6205-5211

特別損失の発生、業績予想の修正
および役員報酬の一部返上に関するお知らせ

平成21年3月期決算において下記のとおり特別損失を計上いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年 1 月 29 日に公表しました平成 21 年 3 月期通期の業績予想（連結）を下記のとおり修正いたします。

また、役員報酬の一部返上を決定いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1.　特別損失の内容

① HCV 訴訟損失引当金繰入額

平成 21 年 4 月 10 日に公表いたしました通り、特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるＣ型肝炎感染被害者を救済するための給付金支給等業務に要する費用の負担の方法および割合について、厚生労働大臣によりその基準が告示されました。これにより、平成 21 年 3 月期決算において、給付金支給対象者見込数等を勘案して、当社負担に帰する給付金支給等業務に要する費用の額を見積った結果、計上すべき HCV 訴訟損失引当金の額が 20,000 百万円となりました。そのため、平成 21 年 3 月期の連結損益計算書に HCV 訴訟損失引当金繰入額として、8,800 百万円を特別損失に計上いたします。

② メドウェイ関連損失

平成 21 年 3 月 24 日に公表いたしました遺伝子組換え人血清アルブミン製剤「メドウェイ注 5%」製造販売承認の取下げおよび「メドウェイ注 5%」「メドウェイ注 25%」自主回収にともなう製品の回収費用、廃棄損等をメドウェイ関連損失として、平成 21 年 3 月期の連結損益計算書に、650 百万円を特別損失に計上いたします。

③ 投資有価証券評価損

平成 21 年 3 月期における投資有価証券評価損

	単体	連結
(A)平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間(平成 21 年 1 月 1 日から平成21年3月31日まで)の有価証券評価損の総額(=イ−ロ)	△4 百万円	3,725 百万円
(イ) 平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額	4 百万円	6,635 百万円
(ロ) 直前四半期(平成 21 年 3 月期第 3 四半期)累計期間(平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額	8 百万円	2,910 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B)平成 20 年 3 月期末の純資産額	476,454 百万円	667,808 百万円
(A/B×100)	− %	0.6%
(イ/B×100)	0.0%	1.0%
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額	52,152 百万円	54,408 百万円
(A/C×100)	− %	6.8%
(イ/C×100)	0.0%	12.2%
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額	23,521 百万円	21,993 百万円
(A/D×100)	− %	16.9%
(イ/D×100)	0.0%	30.2%

2. 業績予想の修正

① 平成 21 年 3 月期 通期連結業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	420,000	73,000	74,500	33,000	58 円 80 銭
今回修正予想(B)	420,000	73,000	74,500	27,000	48 円 11 銭
増減額(B-A)	―	―	―	△6,000	―
増減率(%)	―	―	―	△18.2	―
(ご参考)前年実績	229,688	51,079	51,650	27,642	69 円 48 銭

② 修正の理由

上に記載の特別損失を計上するため、前回発表予想より、当期純利益を6,000 百万円減額修正し、27,000 百万円となる見通しであります。

③ 配当予想について

配当予想につきましては、平成 20 年 5 月 7 日の平成 20 年 3 月期決算発表時に公表した内容から変更はありません。

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は、当社の事業領域をとりまく様々な要因により、これら業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

3. 役員報酬の一部返上

今回の特別損失の発生を真摯に受け止め、以下のとおり役員報酬の一部を返上することといたしました。

なお、常任監査役より監査役報酬の一部を自主返上する申し入れがありました。

① 報酬返上の内容

代表取締役社長および 代表取締役副社長執行役員	月額報酬額の 20%を返上
取締役副社長執行役員	月額報酬額の 15%を返上
上記以外の取締役および役付執行役員他	月額報酬額の 10%を返上
常任監査役	月額報酬額の 5%を自主返上

② 報酬返上の期間

平成 21 年 4 月から 6 月まで

以上